科目名	41. 「話す」「聞く」技術				
履修年次	1年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （15時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	看護におけるコミュニケーションの意義と方法を理解することができる				
到達目標	１）関係構築のためのコミュニケーションの基本的要素、種類、効果的な技術、態度、コミュニケーションを阻害する要因を踏まえたコミュニケーション技術を習得することができる ２）安全で安楽な技術を習得するために自己課題に計画的に取り組もうとしている				
評価方法	筆記試験（80点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（20点）による総合評価を行う				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②　医学書院				
参考文献					
教育方法と学生への期待 (求めること)	看護を実践するうえで必要な人間関係の構築の意義、看護技術としてのコミュニケーション理論と技法を習得してほしい。そのためには、まず自分の周りの人とコミュニケーションを積極的にとり、自己のコミュニケーションの特徴や自己課題を明らかにしましょう。 講義・演習では事前学習が必要であり、それをもとにグループで検討することを重視します。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	「話す」「聞く」①	自分のことを知ろう 自己のコミュニケーションの特徴・自己理解・他者理解	講義 演習
2	「話す」「聞く」②	コミュニケーションとは コミュニケーション手段 コミュニケーションの構成要素と成立過程	講義 演習
3	「話す」「聞く」③	ミスコミュニケーション 日常会話と看護・医療におけるコミュニケーションの違い	講義 演習
4	「話す」「聞く」④	接近的コミュニケーションと基本的な態度 接近的行動と非接近的行動 接近的コミュニケーションの成立	講義 演習

5	「話す」「聞く」⑤	傾聴の技術 情報収集の技術 説明の技術 アサーティブネス	講義 演習
6	「話す」「聞く」⑥	コミュニケーション障害がある人への対応	講義 演習
7	「話す」「聞く」⑦	コミュニケーションの実際 （ロールプレイング）	講義 演習
7.5	「話す」「聞く」⑧	コミュニケーションの実際 （ロールプレイング発表）	演習